

令和2年11月吉日

関係医療機関・事業所 各位

周南市立新南陽市民病院
病院長 松谷 朗

地域包括ケア病棟の『サブアキュート機能』等のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、地域医療連携の推進に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

厚生労働省は、2025年に団塊の世代の全員が75歳以上の後期高齢者に該当し、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、急激に現役世代が減少することから、自助・互助・共助そして公助が必要としております。

周南市においても、少子高齢・少産多死社会においては、高齢者の医療・介護・福祉及び生活において、今以上に多様性と連携が求められることとなります。

このことから、当院においても、従来の急性期医療を核としながら、地域包括ケア病棟の4つの機能の有機的な連携の充実を図り、在宅医療を担われている「かかりつけ医」をはじめとして、地域包括支援センターやケアマネジャー等を全面的に支援できる体制の構築に努めているところです。

前回は地域包括ケア病棟の「レスパイト入院」を紹介させていただきましたが、今回は「サブアキュート機能」及び「その他の周辺機能」等をご紹介します。

地域に住まわれている高齢者が、その地域で自分らしい生活を最期まで持続していけるように、医療・介護・福祉や生活の支援体制の充実に努めてまいります。

当院が地域包括ケアシステム構築において中心的役割を担い、今後とも、継続的に地域のニーズに応えられるよう、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

地域包括ケア病棟の4つの機能 : 『ときどき入院、ほぼ在宅』を支援

- ① ポストアキュート機能 : 高度急性期や急性期からの受け入れ
- ② サブアキュート機能 : 在宅・施設等からの緊急時の受け入れ
- ③ その他の周辺機能（予定入院） : 短期予定入院（教育入院等）
"（予定外入院） : 軽度悪化した軽症の緊急入院
- ④ 在宅・生活復帰支援機能 : 心身の機能回復と生活環境の見直し

地域包括ケア病棟における

『サブアキュート機能等』の患者紹介受入フロー

診療所等に通院中の方や在宅で療養中の方、又は施設等に入所中の方の状態が軽度悪化した場合に、かかりつけ医等からの当院へのご連絡や受診予約が、より手軽によりスムーズに行えるように、患者紹介等の流れを次のとおり整理いたしました。

当院では、在宅療養を中心的に担われているかかりつけ医の皆様を支援し、地域の皆様が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できるように、地域中核病院としての役割を積極的に担いたいと考えております。

当日の診療依頼に関しては、午前・午後とも、速やかな医療連携に心がけております。特に、午後の時間帯であっても、遠慮なくご連絡をお願いします。

1 サブアキュート機能等の対象と考えられる患者について

○ 高度急性期・専門医療機関での対応までは必要がないと考えられる患者

- ・ 救急医療、急性期・専門医療が必要となる前の、軽度に悪化した状態
- ・ 在宅療養中の患者で、在宅での療養の継続が困難となり始めた状態
- ・ 高齢者の容態の悪化傾向、又は低栄養状態で心配になるような状態
- ・ 「大したことはないけど、いつもより具合が悪そう」、「すこしずつADLが下がってきて、在宅で世話をするのが難しくなってきた」等の状態
- ・ ADLやQOLの低下により栄養管理・リハビリ教育入院が必要な状態

2 地域連携室への連絡、及び診療予約方法について

(1) 緊急性又は専門性が高い患者の場合

ア 直接、担当医師に電話し、医師同士の相談を行ってください。

イ なお、担当医師がわからない、又は医師の都合を確認したい場合等にあつては、遠慮なく地域連携室にお電話をお願いします。

(2) 緊急性及び専門性が低い患者の場合

ア 翌日以降の診療予約

- ・ 紹介患者予約申込書及び診療情報提供書を、地域連携室にFAXしてください。予約結果等については、電話又はFAXでご連絡いたします。

イ 当日の診療依頼

- ・ 先に、地域連携室に電話し、患者の状態等を口頭でお知らせください。

原則10分以内に、速やかにお返事の電話をいたします。

→ 後から、「紹介患者予約申込書」及び「診療情報提供書」を、地域連携室にFAXしてください。

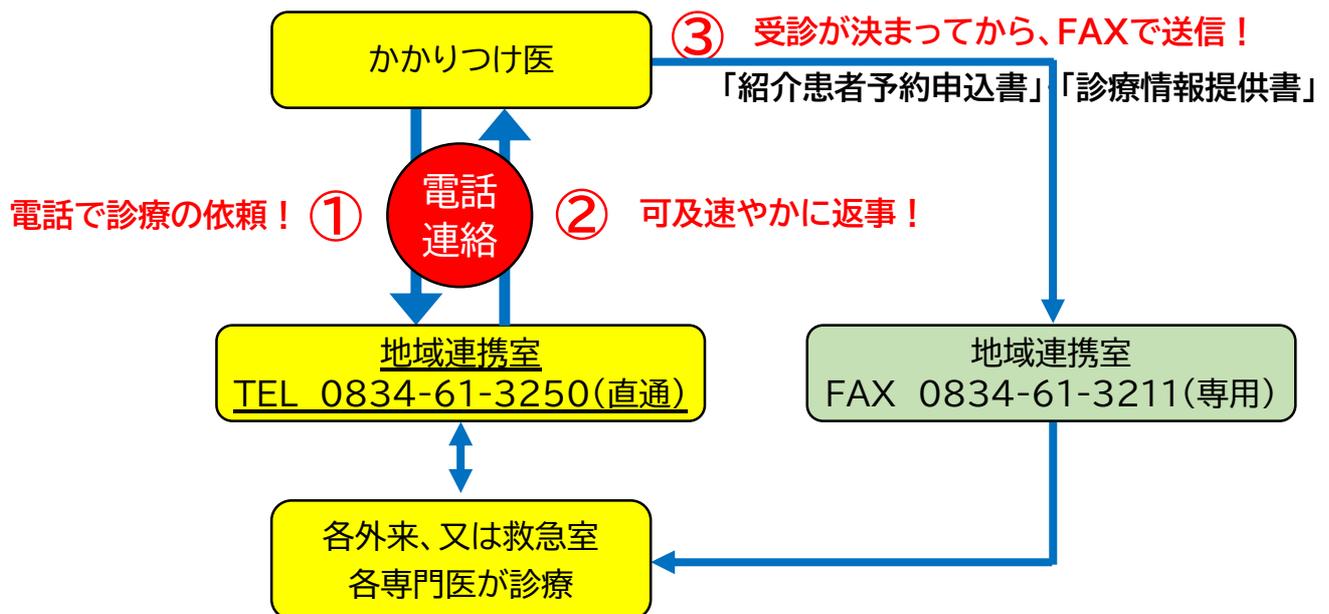
→ なお、午後の時間帯は、当番医師での対応になることがあります。

3 診療担当医師について

- 診療科目 : 血液内科、内分泌内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科
外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、(整形外科)

※ 整形外科は、月・木・金の午前中の非常勤医師での対応となります。

4 2の(2)のイ『緊急性及び専門性が低い患者』の『当日の診療依頼』のフロー



○ 入院病棟について

在宅や施設等で療養生活をしている方の急性増悪が全てサブアキュートの対象というわけではありません。急性期・専門医療が必要なアキュートの患者も多く含まれます。

したがって、当院では、直接診察をした後で、入院病棟を一般病棟（急性期病棟）にするか地域包括ケア病棟（亜急性期病棟）にするかを判断させていただきます。

当院では、アキュートやサブアキュートにとらわれずに、急性期・専門医療、亜急性期医療、又は高齢者を中心とする軽度急性発症した患者等の全ての診療を担う必要が求められていると考えています。

○ 在宅・生活復帰支援機能について

入院後は、当院の多職種チームと地域の多職種チームとが共同して、患者を生活者の視点でとらえ、病院と地域を一体と考えて、切れ目のない医療・介護を提供する役割があると考えており、今後の地域医療・介護・福祉及び生活の連携体制の充実に努めたいと考えております。



地域包括ケア病棟における 『サブアキュート機能等』の対象患者

サブアキュートとは、在宅や施設で療養生活をしている方が軽度中等症の急性疾患により、高度急性期病院への搬送までは要しない程度の軽度中等症の急性期治療を対象とします。

在宅療養中や施設入所中で、体調不良により動けなくなった、食事をとりづらくなった等の諸症状により、在宅主治医（かかりつけ医）が短期入院を必要と判断される程度の軽症の患者までも対象と考えております。

○ サブアキュート機能とは

- ・ 救急医療、急性期・専門医療が必要となる前に、軽度中等症での入院加療の提供
- ・ 在宅や施設で療養している患者が急性増悪した場合に、速やかに受け入れる 機能

- 自宅等療養中の急性増悪
- 肺炎・腸炎・尿路感染症
- 急なADL低下
- 低血糖発作
- 発熱・下痢・脱水
- 褥瘡治療 等

○ その他の周辺機能とは

- ・ 高齢者の容態の悪化傾向又は心配になるような状態での一時的な入院が必要となる程度の患者の受け入れ
- ・ 在宅等で生活している方が軽度に状態が悪化した場合に、入院医療を提供する 機能

【予定入院】

- ・ 教育入院 : 食事・運動等の生活習慣改善指導、嚥下評価・訓練、家族等による介護・医療処置習得のための練習・指導
糖尿病教育入院、リハビリ教育入院、栄養管理・指導
- ・ 短期入院 : ○ 白内障手術 ○ 抜釘手術 ○ 胃瘻造設 ○ 服薬調整

【予定外入院】

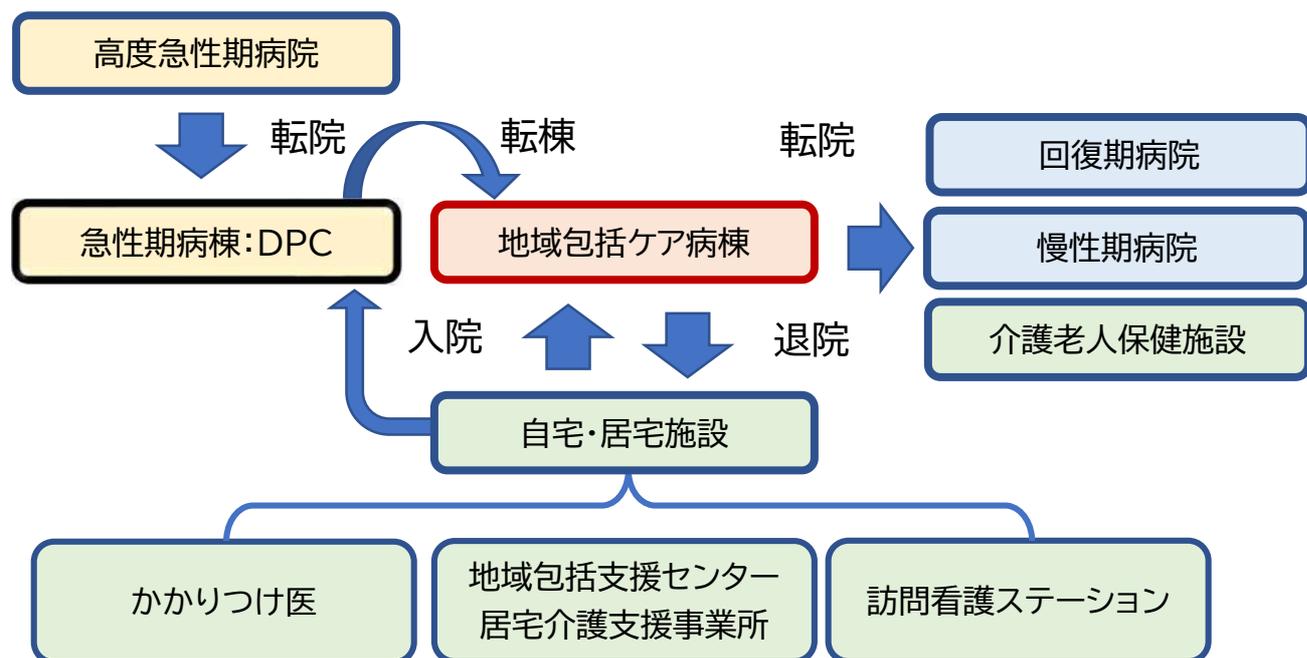
- ・ 軽度急性期疾患の入院 : ○ 食欲不振・栄養不良 ○ ADLの低下 等
- ・ 医学管理の必要な入院 : ○ 在宅や施設等での医学管理の継続が困難な状態

※ 精神疾患の方、及び認知症で問題行動のある方（不穏、徘徊、暴言・暴力等）並びに神経難病の方で、当院での対応が困難と思われる場合は、対象とならないことがありますのでご了承願います。



地域包括ケアシステム構築へのイメージ

● 高度急性期病院を支援する機能



● 地域包括ケアシステムを支援する機能

(お申し込み・問い合わせ先)

周南市立新南陽市民病院

地域連携室 小田・鳴原

TEL 0834-61-3250 (直通)

FAX 0834-61-3211

E-Mail renkei@city-hp.or.jp

※ 平日の午前8時30分～午後5時